

はじめに

日本の容器包装3Rをより実効あるものとして推進するためには、関係者（市民、自治体、事業者）の「連携」をいかに図るかが重要なポイントとされています。

容器包装8素材のリサイクルに係わる事業者団体で構成する3R推進団体連絡会では、その中で特に「市民と事業者」の連携の必要性に着目し、2007年度から「3Rリーダー交流会」をスタートさせ、3年間に渡って市民リーダーの方々との情報交換を行ってきました。

当初2年間の話し合いを通じて、3Rに関する相互の誤解や認識ギャップが要因で、事業者情報が十分届いていないことがわかり、またそれらを具体的に提示し合うことで相互理解が深まり、リサイクルの障害要因なども明らかになりました。

3年目には、これらを踏まえ、市民の実際のリサイクル行動において、納得して活用できる有効な情報を、共同で整備することとしました。

その成果が本小冊子「リサイクルの基本」です。ここでは8つの容器包装すべてのリサイクルに関して、市民の視点に立って情報を伝え、疑問に答えられることをめざしました。

市民はもちろん、自治体、事業者など全ての関係者の皆さんに、この小冊子を是非有効に活用していただきますようお願い致します。

「リサイクルの基本」は、市民の効果的なリサイクル行動に関する情報を、重要性と専門性の2つの観点から整理し、基礎知識編と基本情報編の2部構成にまとめました。基礎知識編では、Q&A形式で容器包装のリサイクル全般に関わる情報について、基本情報編では容器包装の素材ごとに、市民がリサイクルを行うための基本的な情報についてを情報の専門性によって、ガイドライン1、ガイドライン2、資料編の3ステップに分類し、整理しました。

リサイクルの基本

●基礎知識編 Q&A

●基本情報編

（ガラスびん・PETボトル・紙・プラスチック・缶）

●ガイドライン1(G1)：

基本を知り、行動に移すための情報

●ガイドライン2(G2)：

もっと詳しく理解をするための情報

●資料編：より専門的な情報

●初めて「リサイクルの基本」を読む方へ

「基礎知識編 Q&A」を先に読むことをお勧めします。

●市民の皆さんへ

地域での活動や勉強会でご活用下さい。

実際の自治体（市町村）ごとの分別方法は、利用するリサイクル施設で効率的に処理できるように体系化されているため、「リサイクルの基本」で説明している容器包装の種別ごとの分別方法とは、異なることがあります。

自治体ルールから外れた分別をすると、中間処理で選別の手間がかかってしまいます。基本の分別方法の考え方を参考にして、自治体ルールへのご協力をお願いします。

●各自治体担当の皆さん、地域の環境リーダーの皆さんへ

「リサイクルの基本」を勉強会や説明会でご活用ください。

市民（特に転入者など）から、自治体独自の分別方法と「リサイクルの基本」との違いについて質問があった場合は、自治体ルール制定の背景を説明し、分別収集への協力をご案内ください。

●事業者の皆さんへ

「リサイクルの基本」を環境教育や、広報普及活動（出前講座やセミナーなど）の場でもご活用ください。

※今後、皆様からのご意見を取り入れ、必要な情報を使いやすく分かりやすく改善してまいります。